



地域金融機関と協調し、BCP対策に取り組む日本畜産振興株式会社様に対し、シンジケートローン形式で災害対応型コミットメントラインを締結

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業組合や中小企業の皆様が取り組む産業構造の変革への挑戦を、関係機関と連携を取りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（水戸支店）は、日本畜産振興株式会社様（本社：茨城県取手市、代表者：安藤 貴子様）に対し、シンジケートローン形式での災害対応型コミットメントライン(※)11億円を開設しました。本シンジケートローンは、商工中金と東日本銀行が共同アレンジャーを務め、常陽銀行、千葉信用金庫、千葉銀行、筑波銀行が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。

同社は、茨城県でトップクラスの規模を誇る豚肉の加工販売業者(食肉センター)です。独自の解体技術と自動化により、顧客のニーズをきめ細かくとらえた高品質の豚肉を提供しています。

今回、同社は、日本各地で相次ぐ災害発生時のBCP対策のため、大規模自然災害の発生等が金融機関の貸付不能理由になりうる一般的なコミットメントラインではなく、地震等の大規模災害発生時にも安定した資金調達が可能な「災害対応型コミットメントライン」の導入を計画しました。これにより、大規模自然災害発生時においても取引先の要望に迅速かつ柔軟に対応できるよう、円滑な資金調達手段を確保して事業の継続性を高め、地域住民を中心としたステークホルダーからの信頼を高めていきます。

商工中金は、現地訪問や経営者へのヒアリング通じた事業性評価を行い、財務上の強みや弱みを共有。災害時にも安定的な供給が求められることを確認。同社のBCP対策の一環として、拠点を構える茨城県での災害に備え、災害発生時にも資金調達が可能な災害対応型コミットメントラインを開設しました。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、関係機関等と連携してサポートすることで、地域経済活性化に貢献してまいります。

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



【本シンジケートローン形式・災害対応型コミットメントライン契約(※)の概要】

コミット総額	11 億円
アレンジャー兼エージェント	商工中金 2 億 7,500 万円
共同アレンジャー	東日本銀行 2 億 7,500 万円
参加金融機関	常陽銀行 1 億円 千葉信用金庫 1 億 5,000 万円 千葉銀行 1 億 5,000 万円 筑波銀行 1 億 5,000 万円
契約締結日	2023 年 3 月 13 日
コミット期間	2023 年 3 月 31 日～2024 年 2 月 28 日 (更新 OP4 回)
特徴	茨城県、千葉県下における震度 5 強以上の地震発生時にも、コミット総額の範囲内であらかじめ定められた条件に基づく迅速な資金調達が可能。

【日本畜産振興株式会社様の概要】

所在地	茨城県取手市長兵衛新田 238-8	資本金	8,000 万円
代表者	安藤 貴子様	従業員数	80 名 (2023 年 3 月現在)
業種	屠畜解体、食肉加工販売業	設立	1966 年 5 月

(※) コミットメントラインとは、企業と金融機関があらかじめ設定した期間・融資枠の範囲内で、企業が随時借入を可能とする契約です。一般的なコミットメントラインでは、震災等の大規模災害時には金融機関の貸付不能事由とされているため、企業にとって大規模災害発生直後の資金確保に困難が生じる可能性があります。一方、災害対応型コミットメントラインは、一定規模以上の震災等について金融機関の貸付不能事由から除外した契約となっているため、震災等の異常事態発生時も含めて、融資枠の範囲内であれば、あらかじめ定められた条件に基づき迅速な資金調達が可能となります。